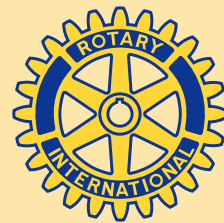


RI 第2820地区  
土浦ロータリークラブ  
創立 1958年2月14日  
承認 1958年3月 7日

RI 第3520地区  
姉妹クラブ  
台北陽明扶輪社

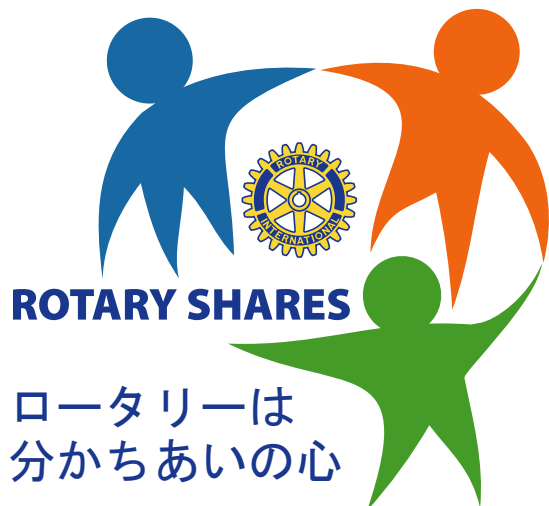


# TSUCHIURA WEEKLY REPORT

会長 河合 隆 幹事 竹中 広夫 【URL】 <http://www.tuchiura-rc.org> 【E-mail】 [office@tuchiura-rc.org](mailto:office@tuchiura-rc.org)  
事務局：土浦市中央2-16-9（常陽銀行4F） 【TEL】 029-822-1250 【FAX】 029-824-8830

RI（国際ロータリー）の創立：1905（明治38） 日本のロータリー創立：1920（大正 9）

2007年～2008年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは  
分かちあいの心

RI 会長

ウィルフリッド J. ウィルキンソン

2007～2008年度

## 9月第1例会プログラム

9月6日（第2443回）

- |             |         |
|-------------|---------|
| ●点 鐘・       | 会長      |
| ●国歌斉唱       |         |
| ●ロータリーソング・  | 奉仕の理想・  |
| ●ビジター紹介・    | 親睦活動委員会 |
| ●会長挨拶       |         |
| ●誕生祝・       | 親睦活動委員会 |
| ●幹事報告・委員会報告 |         |
| ●会 食        |         |
| ●地区・委員長会議報告 |         |
| ●出席報告・      | 出席委員会   |
| ●にこにこBOX・   | S. A. A |
| ●点 鐘・       | 会長      |
| ●ロータリーソング・  | 我等の生業   |



格調高く、和やかに S. A. A

9月は新世代のための月間です。

VOL. 9

# 先週の例会報告

卓話 「葬儀・法事の意義としきたり」

宝積寺 飯山 孝之 住職

## 1. 葬儀とは

(1) 今生から後生へ いかなる人でも、生命には限りがあり、一旦生命が尽きれば、決して蘇ることはありません。生前の身体も感覚、意識、記憶、本能もすべて消えてしまいます。

しかし、その人に本来そなわっている生命の根源である本性は、仏教では「仏性」とか「自性清浄心」と呼び、一般的には「霊」とか「靈魂」とか「魂」と呼ばれ、消え去ることなく次の生へと引き継がれて行くといわれております。

(2) 死後の平安を祈る 葬儀では、故人が仏の弟子となるために、まず、いつからともなく煩惱によって引き起こされた悪業を懺悔して、心身を清め、仏、法、僧の三宝に帰依し、導師から仏弟子となる誓いとしての戒めである「仏戒」を授けていただきその証明として、「戒名」と「血脈」を頂くのです。

(3) 仏式葬儀のおこり 今日行われている葬儀や通夜のしきたりは、仏教渡来以前の日本古来の民間信仰として行われていたものであり、また、地域によっても差があります。仏式で行っているしきたりは、今からおよそ2,500年前に行われた釈迦の葬儀がその基本になっているといわれております。

仏教徒は、釈迦に帰依し弟子になるわけですから、釈迦の葬儀に習うのは、当然であると思います。

## 2. 通夜のしきたり

(1) 釈迦の通夜 釈迦は、紀元前383年2月15日の満月の夜、北インドのクシーナーラという所で入滅されました。その夜から7日間、弟子達が一晚中、釈迦の説かれた法(教え)を語り続けられたといわれています。これが、仏教における通夜の起源とされています。

また、古来日本では、故人の遺体を棺に納め、死者を悪霊から守るため、家族が一晚中共に過ごしたしきたりが通夜にあたります。

(2) 北枕 釈迦は、沙羅の木の下で頭を北にして右脇をつけ横になった姿で入滅されました。北に向けた理由は、仏法が北天竺(北インド)に広まることを願われたからだといわれており、この因縁を尊んで仏教徒が亡くなると北枕にするわけです。

(3) 末期の水 晩年病が重くなられた釈迦は弟子に水を求めた。ところが川の上流を500台もの馬車が渡ったため、水が濁っていた。それでも釈迦が水を望まれたので、弟子が鉢を持って川岸に近づくと不思議なことに、その水だけが急に澄んだというその清らかな水を汲んで、釈迦に差し上げたのです。こうして釈迦が最期に口にされた水が末期の水といわれているのです。

(4) 枕団子 釈迦は晩年故郷への旅の途中でチュンダという信者の「きのこ」料理を食べ、発熱と下痢を伴って衰弱されたといわれています。そこで弟子は、消化がよく召し上がりやすい食べ物として米を粉にして団子を作り、釈迦に差し上げたのです。これが枕団子の起源とされている。

(5) 一本華 故人の枕元や祭壇に菊などの花を一本だけ供えるしきたりが地域によってあります。これを一本華といいます。このしきたりは、釈迦から離れて旅を続けていた一番弟子に無言のうちに釈迦の入滅を教えた、マンダラ華の故事から来ているのです。

## 3. 葬儀のしきたり

(1) 仏戒授与 亡くなられた人が仏の弟子になる大切な儀式です。まず、故人は導師の導きにより仏の前で生前の行いを懺悔し、導師から法性水をそそいでもらって心身を清め、次に仏、法、僧の三宝に帰依し、続いて三聚浄戒と十重禁戒の合わせて16条戒の仏戒を授ける。仏戒を授けた故人は導師から「衆生仏戒を受ければ即ち諸仏の位に入る。位大覚(釈迦)に同じゅうし己る。まことにこれ諸仏の子なり」と唱えて、釈迦と同じ世界に入られたことが宣告されます。

仏になることを約束された故人は、その証明として導師から戒名と血脈を授与され儀式が終了します。

懺悔文……導師の導きにより、諸仏の前で過去を反省し、心身ともに清浄になること。

○我昔所造諸悪業…私は昔から今まで無意識にしたことまでも含めてさまざまな罪悪を犯してきました。

○皆由無始貧瞋痴…罪悪はいつともいえない昔からの貧り欲望、怒りの感情、愚かな心によるものです。

○従身口意之所生…私の身体行動を言葉と心の働きによって生み出されたものです。

○一切我今皆懺悔…私は今、これらのすべての罪悪を心から悔い改めます。

三帰戒……仏、法、僧の三宝に帰依し、心から信じます。

○南無帰依仏…仏に心から帰依し敬います。

○南無帰依法…仏の教えを信じ、より処とします。

○南無帰依僧…仏の教えに生きる僧侶と信者の集まりを大切にし、ともに仏の道を歩みます。

○帰依仏無上尊…仏に帰依するのは、仏がこの上なく尊いからです。

○帰依法離塵尊…教えに帰依するのは、煩惱を離れるための尊い教えだからです。

○帰依僧和合尊…僧侶と信者に帰依するのは、その集まりが和合を第一とする尊い集りだからです。



- 帰依仏竟…仏に帰依し竟りました。
- 帰依法竟…仏の教えに帰依し竟りました。
- 帰依僧竟…教えに生きる僧侶と信者の集まりにも帰依し竟りました。
- 三聚浄戒……仏弟子として生きる基本的な誓い
- 摂律儀戒…仏弟子としての戒をしっかり守ります。
- 摂善法戒…善いことは進んで行います。
- 摂衆生戒…世のため人のために尽くします。
- 十重禁戒……仏弟子として、してはならない十項目の規範
- 不殺生戒…あらゆるものの生命を大切にします。
- 不偷盜戒…盗みや不正を犯しません。 ○不酤酒戒…酒におぼれたり、飲まれたりしません。
- 不盲語戒…うそや偽りを口にしません。 ○不酤酒戒…酒におぼれたり、飲まれたりしません。
- 不説過戒…他人の過ちを言いふらしません。 ○不自讃毀他戒…自慢したり他人をけなしたりしません。
- 不慳法財戒…教えでも物でも与えることを惜しみません。
- 不瞋恚戒…激しく怒ったり感情的になりません。
- 不謗三宝戒…仏法僧の三宝をそしりません。

(2) 血脈 導師から授けられる血脈は、中国唐時代の禪宗で始まったといわれている。この血脈とは、畳半分程の紙面に、釈迦から始まり、インド、中国、日本の代々の祖師から名前が記されて、導師に至り、最後に故人の戒名を書きそれを折りたたんだもので、仏弟子となった証明書のようなものです。

(3) 戒名 戒名とは、仏弟子としての名前であるが、その起源は、釈迦にあり、俗名は「ゴータマ・シツダルダ」と呼ばれていましたが、悟りを開かれてからは「シャキャムニ・ブツダ」「釈迦牟尼仏」「釈尊」と尊称されるようになり、略して「お釈迦様」とか「仏様」とも呼ばれています。戒名そのものは、死者の本名ともいい、位階の上の2文字を指します。道号というのは、本名(戒名)で呼ぶのが失礼であるという中国のしきたりから敬称として付けたものです。更にその上に院号をつけるのは特別の場合です。

(4) 引導 亡くなった人が死後に迷ったり、後戻りをしないで、次の世で着実に仏道を歩むことができるように、導師が仏道の要旨を説き示し、故人を励まし導くのが引導であります。中国において、唐代の禪宗で引導を渡すことが盛んになり「喝」とか「露」とか呼ぶ激励の一語。

(5) 炬火、火葬 引導のなかで、導師は炬火を手に取り目の前で円相を描いて点火の作法を行います。この炬火のしきたりは、釈迦が、父親の火葬の時、火を点されたことによるものです。

(6) 供物

香………インドでは、釈迦以前から香木が使われていた。釈迦も香汁で遺体を清め香木の薪で火葬をし香木を焚き香のよい花が供えられた。よい香は亡き人のための供養となるといわれています。

シカバナ…釈迦が入滅された時、床の周りに生えていた沙羅樹が入滅を悲しみ突然枯れて白色になった故事から祭壇に飾られるようになった。

灯明………灯明は、仏の智慧を表し、煩惱の苦悩に惑わされている人や迷える新亡の霊にとって、これから歩む悟りへの道を明るく照らすという

華………花や灯明は仏教に限らずどんな宗教でも用いられています。釈迦の葬儀でも花はふんだんに用いられたという。釈迦入滅地のクシナーラにある香木と花と楽器のすべてを集め、行列の通る道に花を散らし棺の前にも供えたといわれています。

(7) 鼓・ 釈迦が入滅されたとき、クシナーラの人びとが楽器を持ち寄り釈迦の遺体を納めた棺の前で音楽を奏でて供養した。今でも曹洞宗では、葬儀の時にチン、ドン、ジャランの引鑿、鼓、銅・を用いて故人を送ります。

(8) 塔婆 釈迦の遺体は、火葬の後、八等分されインド各地の部族に分配されて、埋葬された。その埋葬地には、釈迦を信仰する人々がお参りにきて礼拝供養をした。遠方から来る人々にわかりやすいようにと高くそびえる円形の塔を建てた。これが塔婆の起源です。

日本では、平安時代後期からは、墓地に板の塔婆を立てて供養する風習が起こった。

塔婆の上部は、五輪の形をしている。五輪とは、この世界を構成している5つの要素を示しています。五輪は五智円満の如來の姿であり、仏性の具体的姿、成仏の姿を表すものとしています。

#### 4. 法事(追善供養)のしきたり

(1) 追善供養 釈迦が入滅された後、遺体を納めて塔の前で供養したのがその原点である

▪ 利供養…香、華、灯燭、飲食等を供える供養をいいます

▪ 敬供養…お経を読誦し、仏の教えを讃えて敬う供養

▪ 行供養…仏道修行や善行を積むこと転じて故人が安心できるような正しい生活を送る供養

(2) 中陰(七日供養) 亡くなってからの次の生を受ける中間の陰に潜んだ期間を「中陰」と呼び7日ごとにその人の生前の行いによって次の生が決まるといわれています。亡くなられた人は、仏弟子となって仏に帰依した後、中陰の世界にて諸仏のご加護のもとで、仏道修行に励みます。残された遺族は7日毎の供養をすることによって故人の修行を後押しし、励ますこと。

(3) 四十九日(大練忌) 七七、四十九日の法要を大練忌といいます。亡くなった後四十九日を経過して「大きく練りあがった」ことを意味する練るとは、修行することである。仏弟子となった故人が仏に導かれて7日ごと仏道修行をし、仏界浄土へ入ったことを示しています。位牌も素木の仮位牌から本位牌に改め先祖が祀られている仏壇に納めます。

(4) 百ヶ日(卒哭忌) 死後100日目の法要を百ヶ日忌といいます。正式には卒哭忌と呼ぶ。使者の霊をなぐさめ遺族が身内の死を悲しんで声をあげて泣く(哭)ことを卒るのが、起源のようです。

(5)一周忌(小祥忌)、三回忌(大祥忌)

死後一年目と三年目(満二年)に行う供養を小祥忌、大祥忌と呼ぶこの供養は、中国の儒教が起源とされています。

儒教では、小祥、大祥をもって死後の供養は終わりますので中国の仏教でも大祥忌で終わりとされてきました。「祥」(さいわい)の意味を持ったものです。残された人びとと1年、2年と安穩に過ごし、供養することができるめでたいことから大祥忌といえます。

(6)七回忌以降の年回忌

日本では、先祖崇拜の風習から、祖霊となるまでの七回忌、十三回忌、十七回忌、二十三回忌、二十七回忌、三十三回忌、三十七回忌、五十回忌等を行うようになった。

(7)五十回忌のトムライアゲ

地域によって異なりますが、五十回忌または、三十三回忌を以って追善供養を打ち切ります。この最後の供養を「トムライアゲ」と呼び地域によっては枝葉のついた常緑樹の塔婆を立てて供養した。

にこにこBOX

8/30 36,000円 累計 444,000円

◎河合会長～公式訪問無事終了しました。皆様のご協力ありがとうございました。

◎小松崎君～納涼会で川田さんの食事券が当たりました。決して八百長ではありません。

◎飯山君～今回の卓話は身近なものです。参考にして下さい。

◎渡辺(俊)君～G公式訪問家族懇親会抽選会で米山奨学生のギギさんが食事券(霞月楼さん)が当たりました。今日、彼と一緒に日本での最後の食事会に行って参ります。

◎山上君～納涼家族懇親会無事終了しました。皆様のご協力誠にありがとうございました。

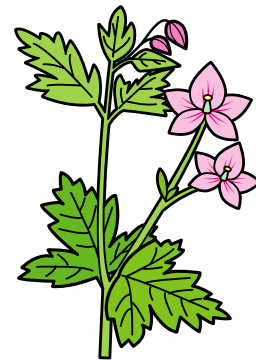
※写真～飯山君、井坂君、岩瀬君、海老原君、菊池君

※写真～菊地君

メイクアップ

岩瀬(8/20 ライラ委員会 8/25 ライラ実行委員会)

河合、竹中、平、沼尻(8/28 土浦南)



出席報告

会員	欠席	出席	出席免除	出席率
62名	1名	61名	11名	98.04%

誕生祝(9月)

会員

- 小松崎幹雄君(3日)・
- 坂本 栄君(3日)・
- 菊地 雅史君(8日)・
- 渡辺 浩一君(13日)・
- 松浦 泰三君(30日)・

奥様

- 吉川 康子様(8日)
- 渡辺みどり様(8日)
- 沼田喜久江様(15日)
- 井坂みち子様(21日)
- 青木 満子様(22日)
- 小原美年子様(26日)

★本日のメニュー★

- みそ汁仕立て
- 各種野菜の具たくさん
- まぐろの叩き
- 野菜添え ぽん酢
- 秋茄子の田舎煮
- 鳥の治部煮
- ほうれん草の煮浸し
- 南京とマカロニのグラタン
- 目鯛のつけ焼
- 白米

例会予告

9月13日 新世代のための月間に因んで

20日 新入会員卓話

「土浦ロータリークラブ美術館」

青磁 萌芽 壺